

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年03月31日

計画の名称	安全・安心まちづくり推進計画												
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○
交付対象	大口町												
計画の目標	本町は都市化の進展による人口増や、昭和30年代前半の工場誘致施策により企業・会社が多数存在し、昼間人口比率が139.9%（平成27年国勢調査）と全国的にも高く、帰宅困難者が4,900人～5,600人（過去地震最大モデル）と予想されていることから、自然災害が発生した場合、被害拡大につながる社会的要因は増大しています。過去においては、本町中心部を流れる五条川上流の犬山市南部に位置する入鹿池が、明治元年の豪雨により決壊し、町内に高さ3mもの陸津波が押し寄せ、死者233名にも上る未曾有の被害をもたらしました。このことから、大規模な被害が想定されています南海トラフ巨大地震への対策に加え、近年のゲリラ豪雨への備えも急務となっております。 本町では第7次大口町総合計画において、基本目標の「犯罪や災害に強く豊かな生活基盤を創造する」ため、「安全安心の地域社会形成」を目指しており、いざというときに大きな力となり、支えとなる地域自治組織や消防団・警察などの”地域の力”と連携を図りながら、避難路及び地区緊急避難施設等の基盤整備を進めていくことで防災体制の強化を推進しています。この整備計画では、本町の防災活動拠点ともなる地区緊急避難施設並びに避難所等へ災害時に安全に移動するための避難路の改善を集中的に実施するとともに、学校とも連携しながら、子どもの通学路の安全対策を併せて実施することにより防災性と子どもの安全を総合的に向上させていきます。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,079	A	991	B	0	C	88	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	8.15	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R5末
1	地震や水害など防災に対する安心感に対する満足度の向上			
	町民に対するアンケートを実施する。（H26年度 0.23点→R5年度 0.40点） 満足を+2点、やや満足を+1点、やや不満を-1点、不満を-2点とし総回答数に対する満足度の平均点を算出する。	23/100点	23/100点	40/100点
2	大口町安全・安心まちづくり推進計画に基づく避難路の整備率			
	整備率（％）＝整備された避難路の延長/大口町安全・安心まちづくり推進計画に計画された延長	0%	68%	100%
3	地区内に避難場所を整備することにより、避難者の避難完了時間を昼夜平均約150分（昼間120分/夜間180分）から約50分（昼間45分/夜間60分）に短縮する			
	地区内の避難者の平均的な避難所要時間を測定する。	150分	150分	50分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	大口町	直接	大口町	—	—	地区公共施設等整備（豊田一～三丁目・替地・秋田四丁目地区、秋田二丁目・四丁目地区、河北・中小口四丁目地区、ほか2地区）	避難路整備4路線(L=2,802m)、緊急避難施設整備1カ所	大口町／大口町全域	■	■	■	■	■	991		—
											小計						991		
											合計						991		

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	大口町	直接	大口町	－	－	大口町防災子ども安全ま ちづくり	防犯灯、転落防止柵、横断防 止柵、グリーンベルト、カラ ー舗装	大口町	■	■	■	■	■	88		未策定		
		基幹事業と併せて実施することにより、防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。																			
												小計						88			
											合計						88				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大口町まちづくり部まちづくり推進課にて実施。

事後評価の実施時期

令和8年3月

公表の方法

大口町HPにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・避難路の延長、防犯灯等の設置が進んだことで、町民の防災に対する安心感を向上することができた。
- ・緊急時の車両通行が円滑となるハード整備を行うことができた。
- ・地区緊急避難施設である大口北防災センターを整備したことで、防災体制を強化することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

-

○特記事項（今後の方針等）

災害に備え、緊急避難路の整備等続けることで安心安全なまちづくりを推進していきます。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	地震や水害など防災に対する安心感		
	最 終 目標値	40/100点	若干目標値には満たなかったが、緊急避難路の整備等前との比較で0.16ポイント上昇するなど、当該の整備等により明確な向上が見られ、ほぼ目標通りの結果となった。
	最 終 実績値	39/100点	
2	計画に対する整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3	平均的な避難所要時間		
	最 終 目標値	50分	
	最 終 実績値	50分	